

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 3 日作成)

小委員会名	公共施設マネジメント小委員会	主 査 名：西野辰哉 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画運営委員会)	委員長名：大原一興 主 査 名：岸本達也
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <p>日本は人口縮小期に入り、地方自治体は合併等により大きく再編された。拡大基調で整備されてきた公共施設は、都市と農村部など地域格差も顕在化し、公共施設の配置にも新しい視点が求められている。人口減少時代における公共施設再編の諸問題を、高水準・高質かつ持続的な公共施設整備のチャンスとしてとらえる。機能／空間／配置という建築計画の基本をふまえつつ、都市経営の大きな視点を見据え、まちづくりから市民参加まで包括した枠組でそのあり方について総合的に検討し、ビジョン提示などにより社会の期待に答える。</p> <p>(2014 年度活動計画)</p> <p>1. 委員会の開催 シンポジウムの企画、出版計画検討を含め、年 4 回程度の開催を目指す。</p> <p>2. シンポジウムの開催等 1) (仮) 縮減期における地域コミュニティ施設の再編-地域自治,まちづくり,空間活用,2014.7 予定</p> <p>3. 「(仮) 公共施設の再編マニュアル」出版 これまで開催したシンポジウムなどの内容を基盤として、これからの公共建築マネジメントのあり方を包括的に論じる出版物を 2015 年度に出版できるように原稿執筆、編集作業を遂行する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：西野辰哉 (金沢大学) 幹事：池添昌幸 (福岡大学)、伊丹康二 (大阪大学) 委員：森 傑 (北海道大学)、南一誠 (芝浦工業大学)、柳澤要 (千葉大学)、生田京子 (名城大学)、石原智也 (NTT ファシリティーズ)、大島英司 (国土交通省)、椿幹夫 (山下設計)、倉斗綾子 (千葉工大)、佐々木誠 (日本工業大学)、岡本和彦 (東洋大学)、栗崎真一郎 (広島工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (4/7 今期活動計画案討議、先進自治体視察 (5/20 埼玉県宮代町、7/17 さいたま市))
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	「公共施設の再編-計画と実践」、森北出版、2015.2 刊行
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	<p>8/22 公開研究会開催「公共施設の再編における地域コミュニティ拠点の住民による管理・運営化に向けた現状と課題」(参加者数 25 名)</p> <p>10/25 公開研究会開催「教育と公共施設再編の観点からみた学校統廃合の歴史・現状・可能性」(教育施設計画小委員会と共催、参加者数 57 名)</p> <p>12/17 公開研究会開催「公共施設再編と都市計画政策の整合性・総合性」(参加者数 26 名)</p>

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会は活動計画討議1回、先進自治体視察2回の合計3回（下記公開研究会を含めると6回）開催し、公共施設再編の動向、課題、手法に関する理解を深めることができた。 2. 公開研究会を3回（うち1回は教育施設計画小委員会と共催）開催し、公共施設再編における重要課題について報告・討議を行い、理解を深めることができた。 3. 2015.2 に出版物を刊行し、公共施設再編の課題と手法をとりまとめることができた。
委員会活動の問題点・課題	成果物（出版物）の効果的な発信方法を検討すること

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。